

中井だより

中井やまゆり園

「ごあいさつ」

副園長 諸星 仁志

あらためまして、6月1日付けの人事異動で副園長になりました諸星と申します。

県に事務職として就職して三十数年経過し、振り返りますとその約半分が福祉関係の所属に在籍し、予算・経理関係や前職では高齢福祉課で介護サービス事業所の指導等を担当していました。その前には県立さがみ緑風園で副園長をしていましたので、これまでの経験も生かせればと思っています。

「当事者目線の支援改革プロジェクトチーム」が5月に作成した「支援改革プログラム」の提言を受け、園と県本庁は7月中にアクションプランを作成し、それに従って取り組んでいく大事な時期に園に配属されたことも認識しながら精一杯職責を果たしていきたいと考えています。

支援改革プログラムの項目の一つに「利用者を支える地域のネットワークづくり」があり、市町村との協働を図ることや、利用者の皆さんと職員が地域にでて、様々な体験を重ねながら一人ひとりの地域での暮らしを考えていくことなどが盛り込まれています。

園に着任して間もない頃、人手が足りないとのことで日中活動先の一つであるミカン畑の草刈り作業に声がかかり、草刈り機を使っていい汗をかかせていただきました。翌日利用者の皆さんが刈った草の片付けをしていただき、利用者の方と一緒に地域での活動を実践することができました。

先日は中井町役場を訪問し、町長にお会いすることができ、園が現在取り組んでいることをご説明させていただきました。町長からは園の取組にご賛同いただくとともに励ましのお言葉もいただいたところです。私20年ほど前に中井町役場に交流職員として2年間派遣されており、当時一緒に働いた職員など懐かしい方々にお会いし一瞬にして当時の親しい間柄に戻ることができましたので、町と連携していく上でこういった繋がりも大切していきたいと思っています。

とりとめのない話になりましたが、市町村や関係機関との関係性を築きながら、利用者の皆さまの暮らしをつくり、一人ひとりの人生を支援するという理念に基づき、当事者目線の支援を実践していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。